PAT-NO:

JP02002230667A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

TITLE:

SMALL-SIZED ALARM GENERATOR

PUBN-DATE:

August 16, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY

MIYAZAKI, TSUTOMU N/A MIYAZAKI, TOMOYOSHI N/A

INT-CL (IPC): G08B021/22, G08B021/00

#### ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a small-sized alarm generator capable of easily sensing the whereabout of variables of each person by effectively using the radio signal of a portable telephone or the like.

SOLUTION: This alarm generator has a receiving means for receiving a radio signal and a voice generating means for amplifying the signal received by the receiving means to emit a prescribed voice which are provided in a thin plate-like case, and is constituted so as to generate a prescribed alarm from the voice generating means when a prescribed radio signal from a telephone is received by the receiving means. The case is formed in a substantially flexible sheet form, and the carry-on article is a portable variable article

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO

such as key, purse or the like.

----- KWIC -----

Document Identifier - DID (1):

DERWENT-ACC-NO:

2002-640331

DERWENT-WEEK:

200269

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Small warning generator for  $\frac{\text{locating lost key,}}{\text{key}}$  has speaker that emits prescribed sound when receiving circuit receives radio signal from mobile telephone

----- KWIC -----

Basic Abstract Text - ABTX (2):

USE - For <u>locating lost key</u> and wallet using mobile telephone.

Title - TIX (1):

Small warning generator for <u>locating lost key</u>, has speaker that emits prescribed sound when receiving circuit receives radio signal from mobile telephone

Standard Title Terms - TTX (1):

WARNING GENERATOR <u>LOCATE LOST KEY</u> SPEAKER EMIT PRESCRIBED SOUND RECEIVE
CIRCUIT RECEIVE RADIO SIGNAL MOBILE TELEPHONE

(19)日本国特許庁 (JP)

### (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公閱番号 特開2002—230667 (P2002—230667A)

(43)公開日 平成14年8月16日(2002.8.16)

(51) Int.CL'

識別記号

FΙ

テーマコート\*(参考)

G08B 21/22

21/00

G 0 8 B 21/22 21/00 5C086

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全4頁)

(21)出顧番号

(22)出籍日

特顧2001-67789(P2001-67789)

平成13年2月2日(2001.2.2)

(71)出願人 598000264

株式会社トリガー

静岡県磐田市匂坂中1600-22

(72)発明者 宮崎 力

台町 ル 静岡県磐田市匂坂中1600-22 株式会社ト

リガー内

(72)発明者 宮崎 友良

静岡県磐田市匂坂中1600-22 株式会社ト

リガー内

Fターム(参考) 50086 AA21 BA30 CA06 CB27 DA02

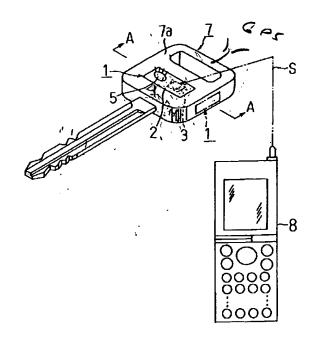
DA07 FA02

#### (54) 【発明の名称】 小型警報発生器

#### (57)【要約】

【課題】携帯電話等の無線信号を有効活用することにより、各人の貴重品の所在を極めて容易に感知し得る小型 警報発生器を提供する。

【解決手段】薄板状のケース内に、無線信号を受信する 受信手段と、該受信手段で受信した信号を増幅して所定 の音声を発する音声発生手段とを有し、前記ケースを被 装着物に装着した状態において、前記受信手段で電話からの所定の無線信号を受信した際に前記音声発生手段から所定の警報を発する如く構成したことを特徴とする。 前記ケースが可撓性を有する略シート状に形成され、前 記被装着物が鍵や財布等の持ち運び自在な貴重品である ことを特徴とする。



1

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】薄板状のケース内に、無線信号を受信する 受信手段と、該受信手段で受信した信号を増幅して所定 の音声を発する音声発生手段とを有し、前記ケースを被 装着物に装着した状態において、前記受信手段で電話か らの所定の無線信号を受信した際に前記音声発生手段か ら所定の警報を発する如く構成したことを特徴とする小

【請求項2】前記ケースが可撓性を有する略シート状に 形成されていることを特徴とする請求項1記載の小型警 10 報発生器。

【請求項3】前記被装着物が、鍵や財布等の持ち運び自 在な貴重品であることを特徴とする請求項1または2記 載の小型警報発生器。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、例えば車両のキーや財 布等に装着することにより、該キー等を粉失等した際に 携帯電話等の無線信号でその位置を容易に感知し得る小 型警報発生器に関する。

[0002]

【従来の技術】従来、例えば車両用のキーや財布等の貴 重品において、例えばキーの場合は車両の運転に使用さ れ、財布の場合はお金を入れるというそれぞれの持つ機 能しか果たすことができない。また、近年、携帯電話の 普及がめざましいが、この携帯電話には、通話機能は勿 論ではあるが、他の機能としてメール送受信機能等の通 信機能が付加されている。

#### [0003]

【発明が解決しようとする課題】ところで、車のキーや 30 財布等の貴重品は、例えば車内や家庭内でその所在が解 らなくなることが多々あるが、このような場合、これら の貴重品を探すのが非常に面倒である。そして、場合に よっては、貴重品が車内や家庭内にあるにも係わらず発 見できないことがあり、新たにキーを作製する必要があ る等、使用者への負担増となっているのが実状である。 【0004】本発明は、このような事情に鑑みてなされ たもので、その目的は、携帯電話等の無線信号を有効活 用することにより、各人の貴重品の所在を極めて容易に 感知し得る小型警報発生器を提供することにある。

#### [0005]

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成すべ く、本発明のうち請求項1記載の発明は、薄板状のケー ス内に、無線信号を受信する受信手段と、該受信手段で 受信した信号を増幅して所定の音声を発する音声発生手 段とを有し、前記ケースを被装着物に装着した状態にお いて、前記受信手段で電話からの所定の無線信号を受信 した際に前記音声発生手段から所定の警報を発する如く 構成したことを特徴とする。

明のように、可撓性を有する略シート状に形成されてい ることが好ましく、また、前記被装着物は、請求項3記 載の発明のように、鍵や財布等の持ち運び自在な貴重品 であることが好ましい。

[0007]

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面 に基づいて詳細に説明する。 図1~図3は、本発明に係 わる小型警報発生器の一実施例を示し、図1がその使用 状態の斜視図、図2が図1のA-A線断面図、図3がそ の回路例を示すブロック図である。

【0008】図において、小型警報発生器1は、薄い板 状のケース2を有し、このケース2内には、受信回路3、 と、増幅器4と、スピーカ5及び電源回路6が内蔵され ている。ケース2は、例えばある程度変形可能な樹脂に よって成形され、被装着物である車両のキー7の操作部 7 aの表面側に埋設状態で装着されている。なお、小型 警報発生器1の操作部7への装着位置は、表面側に限ら ず裏面側でも、図1の二点鎖線で示す側面側でも良い し、装着状態も埋設に限らず図2の二点鎖線で示すよう 20 に、操作部7aの表面に両面テープや適宜の接着剤で固 着する構造を採用することもできる。

【0009】前記受信回路3は、例えば所定のフィルタ 一回路(図示せず)等を有して、図1に示す携帯電話8 の特定の無線信号Sを受信し得るように形成されてお り、この受信回路3で受信された信号が増幅器4で増幅 される。そして、この増幅器4で増幅された信号がスピ ーカ5で音声に変換されて、所定の警報音 (例えば「ピ ーピー」等)を発せられる。 なお、 電源回路 6は、 小型 で薄型のリチウム電池等で形成されている。

【0010】このように構成された小型警報発生器1 は、図1に示すように、キー7の操作部7aに前述した 構成で装着されることにより使用され、キー7の所在が わかる所定位置にある通常状態においては、小型警報発 生器1は何等機能しない。 一方、 例えば車内や家庭内で キー7の所在がわからなくなった(紛失した)場合は、 使用者の携帯電話8で所定の番号(例えば予め設定した 暗唱番号や個々の携帯電話番号等の無線信号S)を発振 させる。そして、携帯電話8から所定の無線信号Sが発 せられると、この無線信号Sを小型警報発生器1が受信 40 して警報音を発し、この警報音を使用者が聞くことによ ってキー7の所在が判明される。

【0011】つまり、小型警報発生器1を、使用者の携 帯電話8等の無線信号Sに感応するように予め所定の条 件を設定することにより、キー7の所在を極めて簡単か つ短時間に感知することができて、キー7の紛失による 車両の運転不可能状態を回避したり、新たなキー7の作 製を防止することができる。

【0012】なお、以上の例では、小型警報発生器1を 貴重品の一つである車両のキー7に装着する場合につい 【0006】そして、前記ケースは、請求項2記載の発 50 て説明したが、貴重品として、例えば図4に示す財布9

に使用することもできる。この財布9の場合は、小型警 報発生器1を図の矢印イの如くファスナーを開けて財布 9のコイン入れ部9a内に入れたり、矢印口の如く、財 布9のカードや札入れ部9bに挟み込むことで装着す る。このように構成しても、財布9を落とした場合等、 携帯電話8で所定の無線信号Sを発するだけで、その所 在が判明できることから、第三者に拾われる前に容易に 見つけることが可能になる。

【0013】このように本発明に係わる貴重品として は、普段から持ち運びし易い、例えば玄関ドアのキー等 10 の各種鍵、定期券入れ、貴重なデータが記載された手帳 (電子手帳も含む)等の各種貴重品に適用することがで きる.

【0014】また、本発明は、前記受信回路3と増幅器 4及びスピーカ5を音声 I Cで形成しても良く、この場 合は、回路構成を極めて簡略化してより小型で安価な小 型警報発生器1を得ることができるし、音声 I Cに警報 音の他に、所定の音声(例えば「ここにあります」等) を記録させておくことにより、所在をより明確に感知さ せることができる。さらに、本発明は、電話による無線 20 信号として、携帯電話8に限らず、例えば家庭内におい ては、一般電話のワイヤレス端末器用等の無線信号を使 用することも勿論可能である。

#### [0015]

【発明の効果】以上詳述したように、請求項1記載の発 明によれば、内部に受信手段と音声発生手段を有する薄 板状のケースを被装着物に装着するだけで、電話の所定 の無線信号を受信した際に所定の警報音を発するため、

被装着物を紛失等した場合であっても、その所在を容易 に感知することができると共に、薄板状のケース内に受 信手段と音声発生手段を設けるだけで対応できて、安価 で使い勝手に優れた小型警報発生器を得ることができ

【0016】また、請求項2記載の発明によれば、請求 項1記載の発明の効果に加え、ケースが可撓性を有して いるため、各種形状の被装着物に確実かつ安定して装着 できると共に、小型警報発生器の汎用性が向上してより 使い勝手を向上させることができる。

【0017】また、請求項3記載の発明によれば、請求 項1または2記載の発明の効果に加え、日常の生活に必 要不可欠なキーや財布等の貴重品に装着するだけで、そ の所在を容易に感知することができて、キーや財布の取 り扱いに気を使う必要がなくなると共に、使用者の負担 増を確実に防止することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係わる小型警報発生器の使用状態の一 例を示す斜視図

【図2】同図1のA-A線断面図

【図3】 同その回路例を示すブロック図

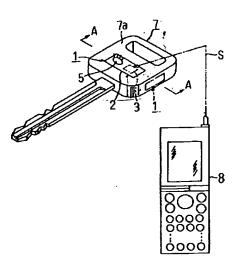
【図4】本発明に係わる小型警報発生器の他の使用状態 Blamを示す斜視図 【符号の説明】

1: 小型警報発生器(2: 3: 受信回 ケース、 4: 増幅器、5: スピーカ 、 電源回

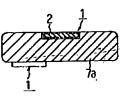
6:

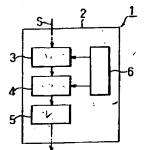
操作部、8:携带電話、ゆん 7: キー、 7a: 9: 財布。 1984

【図1】



【図2】



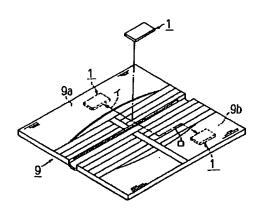


【図3】

pecelver

(1) machine translation (2) walk-up translation





# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER:

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.